

小平市の福祉的な交通体系のあり方を考える情報交換会（第7回）

意見要旨

平成30年3月19日（月）健康福祉事務センター 第3・4会議室

参加者（団体）の近況等

〈介護タクシー事業者〉

我々介護タクシーは午前中に予約が集中することが多く、依頼があっても予約が埋まっているため、お断りせざるを得ないことがある。業務体系、料金体系も違うので一緒にできないと思うのだが、タクシー事業者さんと連携をして、お客様をお断りせずに対応することができないかと考えている。

昨年度から福祉タクシー券のチケットに屋号を載せてもらっている。福祉タクシー券を見て連絡を何件かいただいたが、介護タクシーの場合、大型の車から軽自動車まであり、呼ぶ側はどのような車がくるかわからない。呼んでみたら、ストレッチャーは対応していたが、小さいミニ版サイズの車で窮屈な思いをしたということを知った。

市で配布している移送サービスのパンフレットは、車いすやストレッチャーに対応しているかが分かるようになっているが、どのような車種かが分かるようになると、お客様にとって更に利用しやすいのかなと思う。

質問) 車いすといっても簡易型、電動型と、様々な種類があるが、予約時にどのように確認をしているか。

回答) 最初にこちらで介護器具を用意するか聴いている、車いすであればクライニングか電動型か、確認している。私は大型の車を使用しているので、それ程気にしてはいないが、ミニバンサイズの車だと、車いす以外の乗車人数や車いすのサイズを細かく確認していると思う。

質問) 介護タクシーは土日も関係ないのか。

回答) 個人事業者なので土日を休んでいるところもあれば、土日、年末年始も関係なく対応しているところもあり、様々である。

〈福祉バス〉

病院に行くための利用が多く時間帯が集中しているので、なるべく時間帯をずらしながら調整して予定を組んでいる。車いすを乗せる場合は、送迎に時間がかかるので、

その分の時間を多めに取るようにしている。最近、都心の病院への利用が多くなってきているため、他者の予約が取りづらくなってしまふことがある。

〈タクシー事業者〉

ユニバーサルデザインタクシーの台数も徐々に増えてはいるが、あまり浸透していない。乗務員が高齢化（平均60歳代）しているため、車いすを扱える人もそれほどいない。

これからユニバーサルデザインタクシーが増えてくるとは思うが、タクシー乗務員の人員確保や年齢等、人的な面との兼ね合いがどのようになるのか、つかめていないところがある。今後、皆様の御意見を聴きながら進めていこうと思っている。

質問) 女性の乗務員は何人くらいいるか。

回答) 7～8人いる。勤務体制は、今までの乗務員と同じような方と、主婦のため昼間だけ勤務するという方とに分かれている。

質問) 女性の乗務員だとトランクルームに車いすを積むことは大変か。

回答) 少し厳しい面があると思う、また、高齢の乗務員も同様である。簡単に乗せる装置がある車があればと思う。

質問) ジャパンタクシー(*)は今後も増えていくのか。

回答) 今後もジャパンタクシーは増えていくと思う。この車の特徴として、今までのユニバーサルデザインタクシーと違い、後ろからでなく側面から乗降するため、スロープ等のセッティングに15分位時間がかかってしまう。そういった点で、お客様も乗務員も多少、苛立ってしまうことがあると思う。その点をどう解消していけばよいか考えている。

(*) ジャパンタクシー…トヨタ自動車が2017年10月から販売しているユニバーサルデザインの新型タクシー専用車両

〈福祉有償運送事業者〉

乗務員が高齢化しているため、電動の車いすをトランクに積むのが難しいこと、ユニバーサルデザインタクシーが早々には増える可能性がないことが、お話の中で分かった。

市のリフトバスも、身体障害者手帳または愛の手帳を持っている方の中で、車いすを使用しなければ歩行が困難な方とあるが、妊婦等の移動が困難な方が利用出来ない

か、何年も提案しているが解決策に向けた新たな突破口にはなっていない。

〈利用者代表〉

普段タクシーを利用して感じるのは、乗務員によって、親切丁寧に接してくださる方もいれば、そうでない方もいる。できれば皆さん同じ対応をしていただきたいと感じる。また、ユニバーサルデザインタクシーを今後もっと増やして頂ければと思う。

〈その他〉

質問) 障がいを持っている方に対するの接遇や対応について苦勞している点、取り組んでいることはあるか。

回答) あくまでもタクシーなので介護はできないし、基本的にお客様に触ってはいけないことになっている。車いすのまま乗せる程度のことしか提供できないことを、あらかじめ了承してご利用いただいている。(タクシー事業者)

回答) どこまで介助するのかというのを、付き添いの方に相談した上で行っている。(介護タクシー事業者)

回答) ヘルパー2級程度の免許を取り講習も受けているので、対応できるドライバーである。本当は車のドアまで来てもらってというのが基本であるが、お一人で利用される方もいるので、例えば玄関の階段を車いすで上がれないといった場合、お手伝いをしている。(福祉バス)